（様式第３号）

**仙台市生活困窮者等家計改善支援事業　企画提案書**

提案者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 法人・団体名 |  |
| 所在地 |  |
| 設立年月日 |  |
| 資本金 |  |
| 従業員数 |  |
| 現在の事業内容 |  |
| 受注事業と関連する業務の実績（ある場合） |  |

仕様書に示されている支援員数や事業内容は、本業務を受注するにあたっての最低限の基準であり、創造性あふれた、意欲的な提案をお願いします。

※作成にあたっての留意事項

　・記載欄を適宜増減し記入してください。

・記入する事項がない項目は空欄で結構です。

　・必要に応じて図や表を作成するなど、分かりやすく記載してください。

　・片面印刷とし、２ページ目以降には法人名やその所在地、従事者の実名、法人特有のサービス名等、提案者を特定できるような内容は記載しないでください。

|  |
| --- |
| １　業務に対する基本的な考え方  ※現在の社会情勢等を踏まえた、本業務を行う上での基本的な考え方、方針や支援目標数値を記載してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| ２　実施体制  （１）業務運営体制  　　　※具体的な業務分担や組織体制を含め記載してください。  　　　※個人情報の取扱い体制についても記載してください。  （２）事務所の設置場所・設置方法  （３）家計改善支援員等の配置計画・資質向上の取り組み  ※配置予定者の人数、雇用形態、資格、経験、能力について記載してください。また、人員確保、研修、休職者等が出た場合の対応についても記載してください。  （４）業務実施スケジュール  　　　※業務内容や実施体制を含めた業務行程について記載してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| ３　実施内容  （１）アセスメントや家計再生プラン策定にかかる手法  （２）家計に関する課題を解決するための支援手法  　　　※利用者に応じた支援方法や頻度のほか、課題に応じた法テラス等関係機関との連携手法についても記載してください。  （３）仙台市生活自立・仕事相談センターと連携した生活困窮者の支援手法  　　　※具体的な連携手法のほか、考え方や役割分担等についても記載してください。  （４）各区生活保護担当課と連携した生活保護受給者の支援手法  ※具体的な連携手法のほか、考え方や役割分担等についても記載してください。  （５）生活困窮者自立支援事業を実施する関係機関との連携手法  ※具体的な連携手法のほか、考え方や役割分担等についても記載してください。 |
|  |

|  |
| --- |
| ４　その他のアピールポイント  ※前記の他、業務を効果的にするような、団体の強み、他の地方公共団体における同事業の実績及び本市の特性等を踏まえた独自の提案がある場合は記載してください。また、コンプライアンスに関する考え方や取組等がある場合は記載してください。 |
|  |